



各地で行われたイベント&話題をお届けします

● 創立 100 周年を祝い、飛躍を誓う  
庄原実業高校が記念式典

11月8日、庄原実業高等学校で創立100周年記念式典が行われました。学校関係者や同窓生、在校生などが出席し、長年の歩みを振り返るとともに、飛躍を誓いました。式典で、梶原督三校長は「『農は国の基』の基本理念を忘れず、地域社会の期待と信頼に応え、魅力的でしかも特色ある農業高等学校への追求を進めていきたい」と述べました。式典後、元力士の舞の海秀平さんが「決してあきらめない」と題して講演。アトラクションでは、在校生による花田植や花笠音頭が披露され、100周年を祝いました。庄原実業高等学校は明治41年4月比婆郡立実業学校として開学以降、約18,000人の卒業生を輩出しています。



「実業（なりわい）の道」と刻んだ記念碑の除幕式

● 50 周年を祝いイベント  
防犯組合連合会が記念式典



サンフレッチェ広島少年サッカー教室

庄原警察署管内防犯組合連合会は11月16日、設立50周年記念式典を庄原市上野総合公園で開催しました。式典には、各地区防犯組合や庄原警察署、防犯関係団体などから約260人が参加。会長は「今後も関係機関、団体の皆さんと連携して活動していきたい」とあいさつしました。開会式の後、サンフレッチェ広島のコーチによる少年サッカー教室が開催され、市内のサッカースポーツ少年団の児童約80人がプロの技術を身近に感じていました。また、県警音楽隊による音楽演奏が行われ、アニメや最近の流行の曲など10曲を披露。防犯キャラクターの「モシカ」も駆け付け、防犯意識を高めようと呼びかけました。

● 紅葉狩りと秋の味覚を堪能  
帝釈もみじまつり

「帝釈もみじまつり」が11月2日、帝釈環境改善センターで開催され、市内外から約800人が訪れました。20年ぶりに復活したこの祭りは、帝釈自治振興区が中心となって企画。会場では、地元産の松茸を入れたうどんや、鮎の塩焼き、イノシシ肉の串焼きなどが販売され、来場者は里山料理を楽しみました。また、鬼神太鼓の演奏やもちつきの実演も行われ、会場を盛り上げました。紅葉狩りに訪れた観光客は「イチョウやカエデが色づきとてもきれい。松茸や栗など秋の味覚も堪能でき、楽しい一日になりました」と喜んでいました。



中国人研修生による手作り餃子や栗おこわなどを販売するバザーコーナー

● 城下町の魅力を丸ごと楽しむ  
東城まちなみぶらり散歩ギャラリー



手作りの人形が並ぶギャラリー

10月25日から11月5日までの12日間、東城町本町筋で「城下町東城まちなみぶらり散歩ギャラリー」が開催されました。古い城下町の風情が残る500軒の町並みを丸ごとギャラリーにして、店舗など52カ所で、手作りの人形や骨董品、芸術作品を展示したり、地元食材を使った食事を提供したりして、大勢の観光客でにぎわいました。今年は、100年前に東城の住職が描いた風景画の展示や、酒蔵ならではの雰囲気を残したギャラリーも加わり、観光客は「すばらしい作品ですね」「かわいいですね」と地元の人に話しかけ、交流を楽しんでいました。期間中の11月2日には、伝統の「お通り」も開催され、華やかな彩りを添えました。

● 大菊など 500 鉢が競演  
しょうばら菊花展



全体の形が美しい懸崖花壇

しょうばら菊花展が11月1日から14日、庄原市民会館特設会場で開催されました。菊づくり愛好者ら22人と、市内の4小学校が出品。大菊三本立てや、だるまづくり、懸崖など、約500鉢の力作が展示されました。

● 芸術の秋、力作ぞろい  
庄原市美術展覧会



レベルの高い作品が並ぶ

庄原市美術展覧会の前期展（11月3日～8日）と後期展（11月13日～17日）が、田園文化センターで開催されました。日本画・洋画・写真・工芸・書の5部門に、市民から応募があった作品など174点が展示されました。応募作品の中から34点が入賞し、うち12人が大賞を受賞しました。

● 子育て応援の心つながる  
支援団体が「こどもまつり」



板橋一心太鼓の力強い演奏

『七塚原は笑顔いっぱい!みんなで遊ぼう～つながろう』をテーマに10月26日、「第8回こどもまつり」が高原の家七塚で行われました。今回は、広島県立畜産技術センターの一般公開も同時開催され、約1,800人の親子連れでにぎわいました。このイベントは子育て世代を応援しようと、市内の各団体が構成するこどもまつり実行委員会が企画。庄原実業高等学校吹奏楽部のファンファーレで幕開けし、板橋一心太鼓や県警音楽隊の力強い演奏で盛り上がりました。子育てサークルやボランティアのアトラクション、保護者や地域の方による手作り感あふれる体験コーナーでは、子どもたちが雨にも負けず楽しんでいました。今年は環境への取り組みもあり、「マイ箸をつくろう!コーナー」に多くの親子が参加しました。

## ● 命の尊さを育む授業 比和中が保育実習



中学生が絵本の読み聞かせ

11月13日、比和中学校3年生の18人が、妊娠から出産・子育てを通じて命の大切さを学ぶ総合学習の一環として、比和保育所を訪れました。

比和中学校では、これまでに庄原赤十字病院の助産師や市の保健師による妊娠と出産についての講義や、妊娠疑似体験などでこの学習を進めてきており、今回は、保育所の園児たちと実際に触れ合う保育実習を体験しました。

中学生と園児がそれぞれ自己紹介した後、中学生が企画したレクリエーションで交流がスタート。最初はぎこちない感じでしたが、園児たちもすぐ笑顔になり、中学生による絵本の読み聞かせや手作りおもちゃで楽しみました。

中学生は「最初は緊張したけど子どもたちが笑ってくれた時はすごくうれしかった」「今回の経験を忘れずに命を大切にしていきたい」と話していました。

## ● 地元ガイドが比和の魅力 をPR バスツアーで比和まちなか散策

11月5日、広島市から「しょうばら さとやまバスツアー」で訪れた観光客31人を対象に、「比和まちなか散策」が行われました。

このまちなか散策は、商店街を中心とした比和のまちなかの歴史を感じてもらおうと、比和支所や地元住民などが企画。参加者は、比和自然科学博物館を見学し、比和の新ソバを食べた後、地元住民の案内で、まちなかの建築物やヒワミズラモグラなどの解説を受けながら散策しました。商店街では、店舗の空きスペースなどを活用し、フォトコンテストの展示や農産物などの販売、新米の無料プレゼントなどが行われました。

参加者は「吾妻山の紅葉とともに比和のまちなかの良さを楽しめた」と満足そうに話していました。



神仏混合の名残を示す名所へ案内

## ● 喜寿を祝い名所を巡る 社協が「西城ふるさと巡り」

庄原市社会福祉協議会西城地域センターが10月24日、今年、喜寿（77歳）を迎える方を対象に、「西城ふるさと巡り」を行いました。これは、同い年の皆さんで喜寿を祝い、親睦を深めてもらおうと、毎年実施しています。

今回は町内から25人が参加し、比婆山や熊野神社、道後山高原クロカンパーク、久保刀匠の鍛錬道場、宮氏の菩提寺浄久寺など、町内の名所をバスで巡りました。

参加者は、「77歳になれば、このふるさと巡りに参加できると楽しみにしていました。同い年のみんなと顔を合わせて元気が出た」と話し、秋の一日を楽しんでいました。

社協西城地域センターでは、「たくさんの方に喜んでもらえてうれしい。これからも皆さんが元気になってもらえる事業を企画していきたい」と話していました。



浄久寺で県天然記念物の「カヤ」の木を見上げる参加者

## ● 新生児を応援するカーブに感謝 りんご農家がカーブ選手へプレゼント



カーブ選手へ贈るりんごを詰める生産者

広島東洋カーブ・庄原市コラボレーション事業「新生児応援プロジェクト」に感謝し、高野町果樹園芸組合と高野りんご加工組合が11月7日、カーブ日南キャンプへ高野りんごとりんごジュースをプレゼントしました。

新庁舎・新球場と同じ平成21年生まれの「新生児」に、カーブ選手の手形やサイン、メッセージ入りの特製色紙をプレゼントする「新生児応援プロジェクト」。りんご農家は、広報紙などでこの取り組みを知り、カーブ選手への感謝とお礼の気持ちを込めて、この事業を応援したいと市へ相談しプレゼントを決めました。りんごの品種は「陽光」と「ジョナゴールド」で、4<sup>キ</sup>ケースそれぞれ6箱と、りんごジュース6本入り2箱を贈りました。

高野町果樹園芸組合の田中定美組合長は「赤ヘル色のりんごと、そのエキスの詰まったジュースをたくさん食べて、しっかり体を鍛えて来シーズンに備えてほしい」と話していました。

## ● 真空管アンプを聴き比べ 口和郷土資料館が開館 30周年

口和郷土資料館が11月、開館30周年を祝い、さまざまなイベントを開催しました。

11月15日には、「球楽達人の集い」と題して、手作りの真空管アンプを持ち寄り、音楽の聴き比べを行いました。

市内外から参加した約40人は、クラシックから歌謡曲・ジャズまで思い思いの曲を流し、真空管が灯す柔らかな光とスピーカーから流れる音楽でいやしの空間を楽しんでいました。デジタル音楽機器となっている昨今、参加者は「懐かしい響きがある」「音が柔らかくて聴きやすい」などの感想を話していました。

このほか、開館30周年イベントでは、戦後国産第1号のピアノによるコンサートや口和町の歴史を語る講座、ふれあいシネマ、市内の作家による草木染め展などが行われ、多くの人でにぎわいました。

安部博良館長は「これからも多彩なイベントと展示で“ふるさと”をPRしていきたい」と話していました。



真空管アンプを聴き比べる参加者

## ● 5年ぶりの開催、いきいきと発表 総領小学校学習発表会

総領小学校学習発表会が11月8日、5年ぶりに開催されました。

「9ひきのねこ」や「はたとぶ総領に」など、子どもたちは学年ごとに、国語や総合学習の授業で学んだことを劇などにして発表。夏ごろから苦労して準備を進めてきた子どもたちは、舞台上でいきいきと自分の役割を果たしていました。

最後は全校児童92人で元気に合唱し、会場から大きな拍手が送られました。



2年生の劇「スイミー」。手作り衣装を着て元気に発表。